

## 医療法人社団中和会 西紋病院

西紋 孝一



## はじめに

西紋病院は、父である現理事長の西紋 孝が昭和28年7月11日に現在地（香川県丸亀市津森町）に23床の単科精神科病院を開設しました。当院は、東に丸亀城及び飯野山（讃岐富士）、北に一部瀬戸内海（瀬戸大橋）、南に“こんぴらさん”を眺望できる閑静な住宅地にあります。私が子供の頃（開設当初）は、自宅内の居間が診察室でその隣の部屋で過ごしていました。近所の友達が遊びに来ては、病院の中でかくれんぼをしたり、病院内外の様々なレクリエーション（運動会、演芸会、卓球、川遊び等）にも参加し、月に1～2度の土曜日の午後には近くの小学校の運動場を借りて患者さんたちと一緒にソフトボールをするのを楽しみにしていました。病院の一部の職員は住込みで衣食を共にし、まさに家庭的雰囲気のある手作りの病院でした。当時、退院した患者さんも「家だと不安。病院でみんなと居る方が安心する。」と言って、病院に戻ってくる患者さんも何人かいたようです。

## 病院の概要

平成15年に開設50年を迎え、施設の老朽化及び機能性の問題等のために全面的に増改築を行い、平成16年4月に完成し、平成20年で開設55年になりました。

診療科目：精神科、心療内科、神経内科

施設：病床数140床（指定病床10床）  
精神療養病棟〔開放；60床〕、急性期病棟〔閉鎖；40床〕、ストレスケア病棟〔開放；40床〕

大規模デイケア（ショートケア）施設（定員45名）

精神科作業療法室  
多目的ホール

職員：総人数108名

医師8名（精神保健指定医5名）、薬剤師2名、看護師29名、准看護師24名、看護補助者7名、作業療法士2名、精神保健福祉士3名、臨床心理士2名、診療情報管理士1名、管理栄養士2名、栄養士2名、厨房職員9名、事務職員12名、

その他5名

## 病院の特徴

## 外来部門

平成19年度の外来患者の疾患別において、統合失調症のほか感情障害・神経症圏内の者が多く、特に十代の思春期の症例が多く見られた印象があります。平成20年度は臨床心理士によるカウンセリング機能を充実させ、また医療相談窓口を活用し、患者・家族への対応及び関係各機関との連携・連絡を密にしていきたいと考えています。

平成19年度のデイケア活動に関しては、当院長期入院経験者で退院後デイケアへ移行したメンバーが3名いました。平成20年度は、退院患者に加え、外来患者のデイケア利用の促進を図り、デイケア通所から就労（アルバイト・パートを含む）へということを意識し、個々のメンバーに則したプログラムを考え、社会生活の向上を図りたいと考えています。

精神科訪問看護に関して、入院部門及びデイケア部門との連携を図り、退院患者（特に長期入院経験者、再発・再燃を繰り返す患者等）が地域の中で生活が営まれるように、また家族の様々な不安を軽減できるように援助していきたいと考えています。特に、平成20年度の診療報酬改定で退院促進の一環として精神科訪問看護指導料が評価され、入院中の患者に対しても患家（患者或いは家族に対して）へ訪問し、退院後の療養上の指導を行っていく予定です。

## 入院部門

平成19年度は、早期退院・早期社会復帰を目標とした入院治療を行い、平均在院日数の短縮が図れました（平成19年度；307.7日、平成18年度；350.9日）。当院の新規入院患者の特徴は、アルコール関連疾患による入院がほとんどなく、感情障害・神

経症圏内（いわゆるストレス関連疾患）が40数%を占めていることです。一方で長期入院患者の高齢化とADLの低下及び身体合併症患者の増加が挙げられます。これらの様々な状況・状態の患者に対して、より速やかに適切な対処・対応を行っていくことが大切であると考えています。各医療従事者のモチベーションを高め、各部署との連携を図りながら各病棟の機能分化を進め、より専門性を発揮し、各病棟の特長・特殊性を高めて社会のニーズに応えていきたいと思っています。

各病棟の特徴は、下記に記すとおりです。

### 第1病棟（精神療養病棟）

- 疾病が長期間なために患者個人の自己評価はもちろんのこと、社会や家庭の中での人間関係、地位、他者の評価、経済力など多くのものを失っている患者が多く、主として長期にわたり療養が必要な患者が入院する病棟です。
- 退院促進・リハビリ・社会復帰病棟として、病院内外の様々な資源を利用しつつ長期入院患者（統合失調症を中心）及び身体・生活介護者（高齢者を中心）の各々の具体的な目標を立ててスキルアップ（生活技能、認知機能、四肢の運動機能、嚥下機能及び排泄機能等）を行い、上記患者の退院を促進し病床利用率の向上を図りたいと考えています。



### 第2病棟（急性期閉鎖病棟）

- 幻覚妄想及び不安が著しく本来の

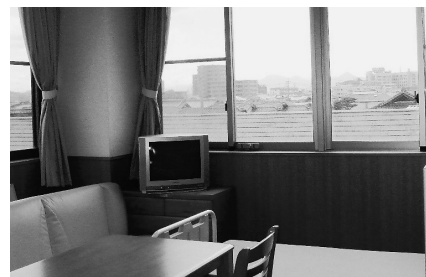
自分を失っている患者のために的確な病状の把握、迅速な治療（看護）の開始、種々の衝動行為への対応、行動制限及び家族への配慮等、細心の注意と専門的技術の提供を必要とする病棟です。

- 現在、長期入院患者群（統合失調症を中心）、幻覚妄想等の陽性症状の活発な患者群及び重度認知症患者群（問題行動を伴う）と大まかに3つのグループに分けられます。当面は、長期入院患者群に対して、第1病棟と同様な対応をしつつ、最終的には急性期患者に対して心身両面に対応できるように迅速に濃厚な治療・看護を提供していきたいと考えています。



### 第3病棟（ストレスケア病棟）

- 現代のストレス社会において増加傾向にある「うつ病・ストレス関連疾患」の患者等に対応できる病棟です。
- 入院患者の中心は、うつ病・うつ状態を中心としたストレス関連疾患患者（軽症の統合失調症も含む）であり、入院期間も比較的短期間です。従来の管理的な対応よりも個別的な対応（認知行動療法的アプローチ、心理教育等）が望まれ、また家族の面会が頻繁にあり、家族を含めた治療（家族療法、家族指導・援助）も重要と考えています。平成20年度の目標として精神科作業療法士（OT）・精神保健福祉士（PSW）・臨床心理士（CP）等と連携し、復職（就労）支援体制を確立し、復職（就労）がスムーズに行えるようにしたいと思っ



ています。

以上のように、入院治療を充実させていくには、医師（医局）を中心に看護部・薬剤部・社会復帰事業部（精神科作業療法士・精神保健福祉士・臨床心理士等）・栄養部及び事務部門との連携を密にし、精神科チーム医療（うつ病患者・統合失調症患者・認知症患者・長期入院（退院促進）患者等）に対するクリニカルパス）を実践していく必要があると考えています。

## 当院が目指す病院

当院は、小規模精神科病院の特長を活かしつつ、『誠実・中和』という病院理念のもと、『心のこもった、人を診（看）る医療。みんなで創る、小廻りのきく病院。』を目指し、クリニック的機能（かかりつけ医的機能）を備え、他の医療機関及び関係機関と連携を図り、地域住民のニーズ（精神・身体的健康の保持・予防）に応えていきたいと思っています。

## 最後に

各職員が今まで経験し、学んできた事を各々で共有し（課題を持ち、考えを出し合い、現状に満足することなく意識の変革を図る）、理想的な精神科医療を求めて全職員一丸となって取り組んでいきたいと考えています。

平成20年9月受理  
〒763-0052 香川県丸亀市津森町595番地  
電話：0877-22-5205 FAX：0877-22-5206  
E-mail：tyuwa@niji.or.jp  
http://www.niji.or.jp/home/tyuwa/